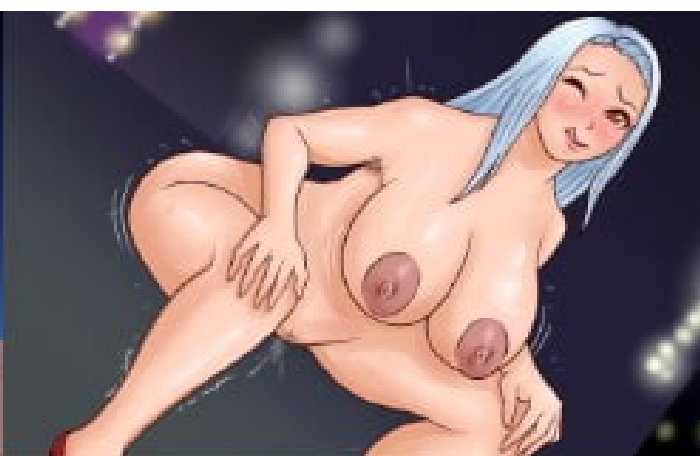


ド変態露出狂
無様羞恥アクメ女





三条玲美

良家に生まれた知性と品性に溢れる女性だったが
変態露出にハマって羞恥マゾの血が目覚めてしまう

それからはどんどん変態行為がエスカレートしていき
どんな事でもするド淫乱女になってしまう

「はーい！ー」 コートを開帳♡ あはああ♡
「淫乱露出狂女のだらしないドスケベボディ見て下さーい♡」

「見られてるっ♡」 「レ最高♡」 気持ちいいいいいいー♡
「ずっと下着着けずに「コート」一枚で歩いてきたのよ♡♡」

だっ、

がばあああ



「ほらあ 無様に生えた陰毛もグロマンも全部見てえ♡」
「変態露出恥ずかし過ぎて興奮しちゃう♡♡」

「あはあ♡ 見て見てえ♡ マン汁垂れてきたあああ♡♡」
「変態女だから発情すると汁が止まらなくなるのよお♡」

ダー

はぁ♡

はぁ♡



「マン汁ポタポタ垂れてるう♡ チンポのために汁なのにい♡」
「私のマン汁って牝フェロモンでもものすごく臭いのよお♡」

「もっと近くで見て嗅いでチン棒勃起させてえ♡♡♡」

ピュエツ

ポタ
ポタ



「あひつ♡ んひつ♡ これイグっ!! イッちやう♡」
「ド変態だから見られるだけでイッちやうのお♡♡」

「早くチンポ汁とマン汁グチャグチャに混ぜて交尾したい♡」

ガクン
ガクン

ピュエツ

はへえ♡

イッ♡



「イグイグイグッ!! 羞恥アクメええええ!!」

私はガクガクと足を震わせて無様に絶頂し
そのままマン汁を垂らしながら「ヒョコヒョコ」歩き回りました

ガクン
ガクン

おはっ

おっ



今度は尻を向けて最低に下品な腰振りをしてしながら
毎日の変態オナニーでめくれあがったアナルを見せつけます



「ほら見てえ♡ ケツ穴開きながら踊りまゝす♡♡」
「無様で恥ずかしい変態ケツ振り見て下さいい♡♡」



「んおっ！ あひっ！ ふんおっ！ んほおっ！」
「あはあああ♥ 惨めすぎて気持ちいいいい♥♥」



「!! ぎもぢいいの来るっ! イキそうになるうっ♥」
「私ド変態だからケツ振りだけでイク事が出来るのおお♥」



「あひいい♡ 変態マン汁いっぱい溢れて来たああ♡」
「イグッ！ ケツ振りエアセックスでイグうううー！」



散々恥をさらしてようやく顔の前に男根が差し出され
私は待ちかねたご褒美に大喜びでしゃぶりつきます



「んおおっ!! チンポッ! チンポオオ♥」

「デンポオオオ！ デンポオオオ！ おいひいい♡」



「ずじゅるおおおっ！　じゅぽるおおおー！」

涎を垂らし見るに堪えない変態顔でチンポに吸いつき
ザーメンを貰うため必死に顔を動かします



じゅぽっ
じゅぽっ♡

むれっ

「ぶじゅるおおおえつつ♡ じゅるべええええつつ♡」
「チンポ汁うゝ チンポ汁ぐださいいいいゝ♡♡」

「ぐんぎよおおつつ♡ ザーメンぎだあつつ!」
「ごぶえええええ!! ふごもおおおおおつつ!」



「うんぬん♡ うんぬん♡ うんぬんぬんぬん♡♡」



ドッオッ



喉の奥に大量のザーメンを流し込まれ呼吸困難になりながらも全部飲み干して精飲絶頂までキメてしまいました

更に衰れたアクメ面に容赦なく残りの精液を浴びせられます



「んぶばあっ！ まだ出るのおお！！ スゴすぎるっ♡」
「んああああ♡ この匂い大好きい♡ またイグうっ♡」

「ごぶうつ♡ 濃厚ザーメン最高に美味しかったわぁ♡」



「でもお預けマン」が限界なのよぉ♡♡」
「今度は交尾っ♡ チンポマン」交尾しましょ♡」

「見てえ♡ 今まで何百本もチンポ啜えた便器穴よお♡」
「グロマンの中身もドロドロのグチヨグチヨななお♡」



私は黒ずんだマンピラを思い切り引つ張って
物欲しそうにヒクヒク動く膣内まで全部晒しました

「おおおおっ!! また勝手にマン汁溢れてくるわ♥♥」
「膣内で熟成されて牝臭たっぷりの変態汁よお〜♥」



「ほらあ…淫乱マンコの中身も全部見せるからあ♥♥」
「チンポおっ! このチンポ挿入用の穴にぶち込んでえ〜♥」





「おひいいい♡ マン」お♡
「これが欲しかったのおお♡」

チンポマン」最高♡♡♡
気持ち良すぎるうう♡」

はえ♡ んあ♡

ガン
ガン

「お お おう!! んおう!!
もうイギそつう♡♡」



「ザーメンでオマン」濡れさせてえええつつ...!!」

「イグッ! イグッ! イグッ! チンポ汁も来だああああ♡♡」

お♡ イ♡

ドビュッ!!

「んぎひいいいつ♡脳味噌までザーメン届ぐううう♡」
「イギっぱなしいいい♡変態交尾きぼちいいいい♡」

私は膣出し快楽で最高のアクメを味わいながら
変態露出で昂った淫乱な性欲を満たしていました



そのまま近くのホテルに連れ込まれると
無様に生えた腋毛も晒して朝まで生ハメです



チンポをハメられ即イキすると狂ったように絶頂し
とにかく快樂を貪るだけの交尾を始めました

「んおおおおおおおおおー!! チンポおお♡」



「いがせでえええ♡ もつとイギまくるのおおお♡」
「あええひいいい!! チンポきもち良すぎるうう♡」

「あぎよおお おおマンゴ おおおおお ♥♥」
「ぐびいいー イングおお お おおぐうおうー！」



あまりの快楽に恥を捨て女として人間として最低の
発情した獣しか出さないようなアクメ咆哮をかまします

イギぐおおお
おおお
おおお
♡♡



こうなってしまうと狂った様に快楽を貪るだけです

「チンポオオオ♥ チンポ汁ううちようだい♥
「変態グロマン」だどびゅどびゅして下さい♥♥」



私はイキ続けながら哀れにザーメンをいの言葉を発しました

「ぎやはああああ♥ ザーメン来るううう♥」
「べひひひひ!!! 淫乱マン」で全部飲むのおお♥」



「凄い量おお♥♥ イグイグイグううう♥♥」

訳のわからない声を出しながら絶頂マンコに精液を注入され
鼻水や涎を垂らした最低な顔で更なる絶頂へと向かいます



股間からは精液とマン汁が混じった液を漏らして
快楽で理性は吹っ飛び狂ったようにイキ続けました

次の日は裸のまま街に連れ出され見世物にされています
今の私はどんな変態命令でも実行するド淫乱女です



「皆様あゝ変態女の痴態をご覧下さい♥♥」
「私はマン」快樂の事しか頭にありません♥♥」





全裸で股を広げながらビョロビョロと歩き周り
ときおり下品に腰をくねらせて無様な姿を晒しています



「ああああ〜小便漏れるううう♡ 見て下さい♡
「はひひひ♡ 路上で放尿してごめんなさいい〜」



「ぎもちいい〜放尿アクメまでかましちゃうっっっ♡♡♡♡♡」
「んはぁ♡ イグっ！ 恥ずかしすぎるっっ♡♡♡♡♡」



小便を漏らしながらヨロヨロと歩くド変態な姿
私はその痴態を見られて絶頂するまでになりました

私は放尿散歩で散々恥を晒して足が限界になると
近くの公園で極太ティルドを挿入して放置され
アへ顔で涎や鼻水を垂らしながらイキ続けてます





「マン」きまぢいらのどまらないいいいい♡♡♡

「あゝあゝあああ♡ ずっとイッてる♡♡」

びく
びく

だめ♡

だめー

先豚



「全身イギつばなしい〜♡ あぎひいいい〜♡」
「イグイグイギイ〜!! わげわがらない〜♡」

イグッ♡
イグッ♡

グイン
グイン

先豚

「何も考えられないっ♡ マンコ脳になったあ〜♡♡」



「はひっ!!? なんか来るう!!? マン汁漏れるう♥」
「んぎいいいい!! マンコの奥から凄いの出るう♥」
「イグツツツ!! イグイグイグオオオ!!」

大量潮吹きと共に巨大なデイルドが膣内からひり出され
最後はポーンと噴射して空中に飛び出してしまいます
私はその凄まじい快感にビクビク震えながら失神しました



今日は昼間から外で全裸になっています
身体中がドスケベの塊のような変態姿です



私はその無様すぎる格好を失笑されながら
下品なガニ股で腰を振りながら豚真似を始めました

「見て下さ〜い♥ 発情中のド変態メス豚で〜す♥」
「フヒッ! フガッ! ブホオ! フゴオ♥」



鼻フックで惨めに歪んだ顔で半笑いになりながら
本物の豚のように鼻を鳴らしてみせます

「これだけでマン汁垂らす羞恥マゾ豚を見てえ♥」
「アハハツ♥ 完全に人として終わってまあゝす♥」



そのままマンコを前に突きだすように見せつけ
より無様で激しいメス豚腰振りダンスをします

「イチツ！ ニヒィ！ サアン！ ブシィー！！」
「ゴホオ！ ブォグ！ ブヒチィ！ ブガハアア！！」



豚真似と混ざってマトモに数も数えられずに
ただただ下品な発情姿を笑われてしまいました

「ブホッ♥ ブガア♥ マンゴツ♥ マンゴオオ♥」
「んぎっ!! マンコの奥からなんか来るううう♥♥」

「ブホオオオオ♥ 豚マンコがイグううう♥」



「マンゴ狂ううう♥ イグイグイグイグイグ♥♥♥」
「ブギヒイイイグウウオオオオオオオオ♥♥♥」



えげつない声を出しながら腰振りだけでの絶頂
ド変態女しかできない最低のアクメをかましました

「ブキイ♥ もうメス豚マンコ限界ですううう!!!!」
「早く汁漏れマンコにチンポで蓋して下さいいい♥♥」



未だに絶頂快樂が続く中でさらなる快樂を求めて
腰を動かしながら哀れなチンポ乞いを始めました

「牝汁ドロドロ変態豚マンコに極太チンポ下さいい♡」
「お願いしますっ♡ チンポっ！ チンポお！」

あはっ♡

もわぁぁ

ぐばぁ

鼻水を垂らして女の弱い場所を全て見せながら尻を振る
その姿は下品で最低、それ以下の無様なものでした



「おぎよほおおつ!!! チンポオオオ!!!!!!!」
「すみません♡ 雑魚マン」即イキしましたああ♡」

はぎ!!

ズドボッ!!

ハメられて即座に絶頂すると快樂地獄へ堕ちていきます





「んほおお!!交尾マン」ぎもぢいへええええ♥♥♥♥♥

「めいっ♥んめいっ♥んくっ♥うぎひっ♥」

「おぎっ！！ぐびぎひいいつつつっ！！」
「クソ穴にも来だあああああああ♡♡」

ズボッ！
グボゴッ！

「ゲツマン」も即イギするつつつつつつっ！！」



「ん、おおおっ♡ マン肉もケツ肉もぎもぢいいい♡」
「チンポ中毒の変態穴ズゴズゴされてるうううう♡」



「あひああああ〜このまま一生交尾してだいい♡」



「んぎグいぐおおお お おおオオオがはあああっ♡」
「マン」おおおオオオおお お おおおつつつつ♡♡」



私は絶頂快楽に溺れ獣以下のあえぎ声で鳴いて
その時の無様なアクメ面は見るに堪えないものでした

イキ狂ってわけもわからず失神してしまった私は
近くの男子便所の床に無様な姿で放置されていました



人が近づいてくるとバカみたいに笑ってピースします

「あはっ♡ 一日中イキ続けてる淫乱バカ女でっす♡」

ピク
ピク

はぁ♡

はぁ♡

「私のドスケベな体を便器代わりに使って下さい♡♡」



イキ過ぎて足はガクガクして動かない状態ですが
必死に腰を上下させて股間から汁を撒き散らします



「んっ♥ ぐほおお♥♥ ぎもぢいいの♥」
「子宮で熟成された変態マン汁出るうう♥♥」

「全部漏れるぅぅ〜♥ 小便もどまらないらしい」

ジョーオー!!

がぁ♡

んお♡

「おおおぁぁぁ〜♥ マンコ馬鹿になっただぁ〜♥」



「ずっとイッてるのおお〜♥ イギっぱなしいい〜♥♥」
「まだイグう〜♥ 脳味噌までマンコになってるうう〜♥♥」

ガク
ガク

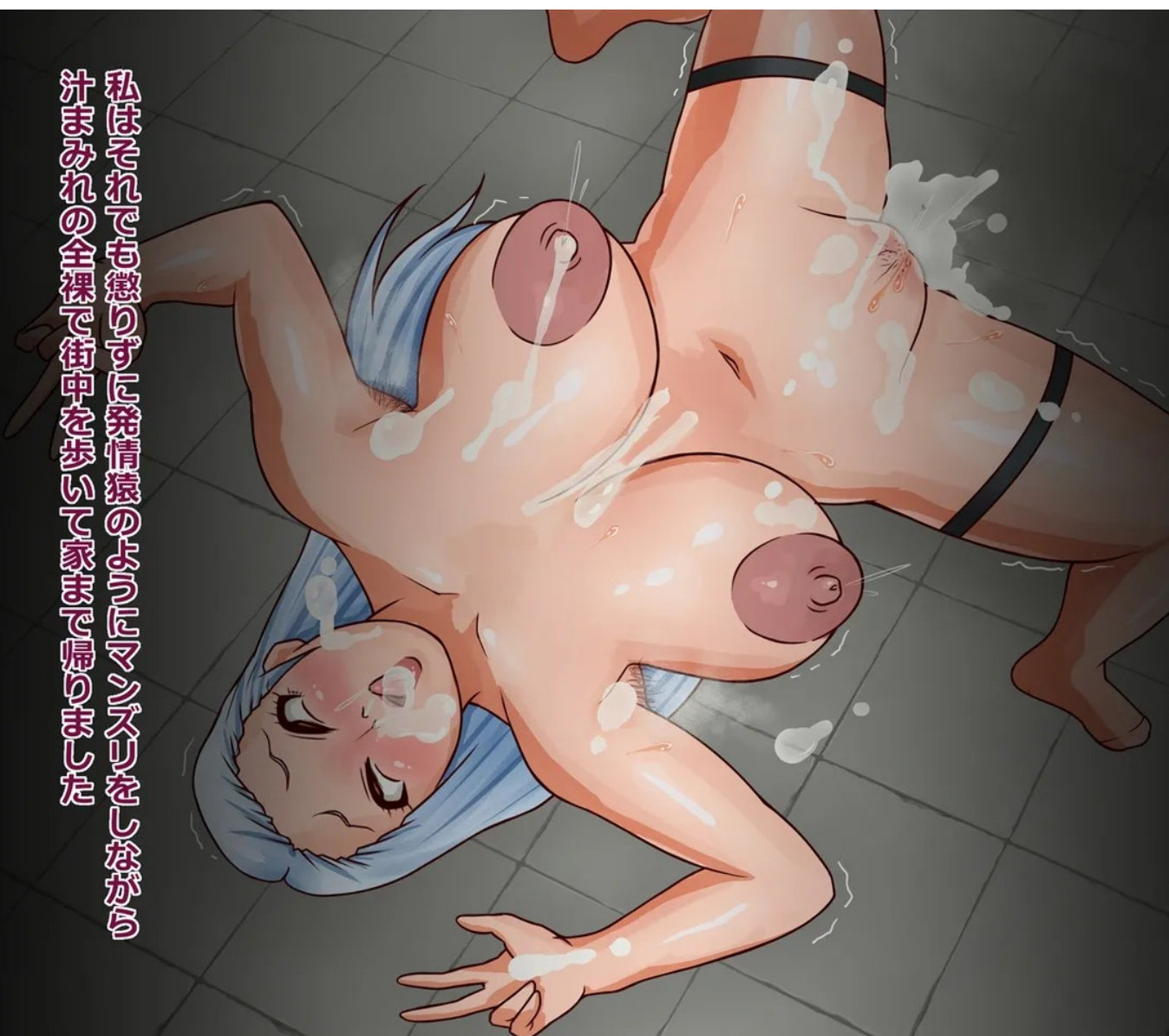
ガク
ガク

ガク
ガク

「んっあぁっ…………… イッ…グあ……………」
「……………」



最後にはその公衆便所で無様に絶頂失神してしまい
朝まで便器の代わりに精液や小便まで浴びせられました



私はそれでも懲りずに発情猿のようにマンズリをしながら
汁まみれの全裸で街中を歩いて家まで帰りました



おまけ

ビッチ黒ギャル化

「イエーイー！露出狂マン」晒しビッチです♡
「やり過ぎのグロマンを笑う者として下さらう♡♡」

ダニ

はぁ♡

はぁ♡





「変態姿見られて興奮するバカ女だからもっと思えてえ♡」

「あ、おっ！ 我慢できねっ♡ イグイグイグイグっ♡」

はへえ♡

イグ♡

ガクン
ガクン

ピュエッ



「勃起チンポゲット♡ ハイ、精液絞り開始♡♡」

「ンおおおおっ!!!
イグイグイグイグイグ!」

イグイグイグイグイグイグ！」



「小便漏れるぅぅ」 「レズミ気持さるぅ」

ピク
ピク

はぁ♡

はぁ♡

「アヘエ♡ イキ晒し便器使つてええ♡」



「ゲーメン最高！ ヤベっ！ イグの止まらねえっ♡♡」



ガク
ガク

ガク
ガク

ガボ〜...

「あがぁー♡ 変態マンコ脳がイグう.....」



















































































